

JAPAN

202106



クルマに連結できるテント

## CROSS-LX CAR+LIVING POP UP TENT

[カー プラス リビング ポップアップテント]

### 取扱い・組立て説明書



**この取扱い説明書は大切に保管してください。**

この度は、CROSS-LX 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
設営の際には、水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、  
本製品を傷つける恐れのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項



## 危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント、タープ内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指を挟まないように注意してください。また、周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 車両のマフラーが熱いうちは、設営時にテント、タープにマフラーが触れないように注意して下さい。テント、タープが溶け破損する原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント、タープ内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意



## 注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容



## セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

|                         |        |
|-------------------------|--------|
| ● キャリーバッグ               | x 1    |
| ● テント本体                 | x 1    |
| ● フライシート                | x 1    |
| ● ルーフポール (5折)           | x 2セット |
| ● ルーフポールジョイント           | x 4    |
| ● キャンピーポール (3分割)        | x 2セット |
| ● スチールペグ                | x 12   |
| ● 自在ロープ                 | x 6本   |
| ● 補修用テープ (70mm x 300mm) | x 1    |
| ● 取扱説明書                 | x 1    |

動画にて、設営手順や撤収手順を見ることができます

- スマートホンなどで、QRコードをスキャンしてYouTube動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=9rUoCttZGsl>



**bud**  
Back Up Design

株式会社バックアップデザイン

〒457-0012 愛知県名古屋市中区菊住2-18-3 ユーザーダイヤル:077-516-4388

仕様は予告なく変更することがあります。

CROSS-LX

# 設 営 手 順

## STEP 1 テント本体を広げる



1. キャリーバックから、テント本体および、付属品を取り出します。



2. テント本体を収納時の丸い形状から、2m x 2mの四角い形状に広げます。



3. 隣り合う2面をL字型に広げ、内側の2面を引っ張り出し、天地を確認し立方体に広げ形を整えます。



**注意**

この時、隣り合う2面を90度以上広げないように注意して下さい。



## STEP 2

### 車両に連結する



4. 車両の後方に運び、リアゲートを開け設営位置を決め、車両との連結部のキャノピーを車両に車両前方へ引っ張り被せます。



5. テント本体の上部に、フライシートを被せ、四隅のハトメ部にナスカンを引っ掛け固定し、バランスを調整します。(フライシートのゴム状になった部分が車両側です。)



6. テント本体の内側に入り、天井の四隅のマジックテープ部（片側）を剥がしルーフポールジョイントを取り付けます。



7. ルーフポールを繋ぎ、天井中心のループを通して、対角のルーフポールジョイントに差し込みます。もう1本のルーフポールも同じように差し込み、天井の中央で交差するように位置決めします。(車両のリアゲートが邪魔な場合は、一度閉めて作業して下さい。)

## STEP 3

### テントを地面に固定する



8. 車両との連結部のキャノピーを車両前方へ引っ張り、ロックベルトをアウトサイドドアハンドルやホイール等に通し、長さを調節し車両との隙間が最小限になる様に固定します。



9. テント本体の位置を再度調整し、車両連結部のキャノピー下部、テント本体下部の車両側、テント本体下部の外側の順で、ペグ用ループ6ヶ所をスチールペグで固定します。(スチールペグは、テント本体に対して外側に60度程度倒した角度で地面に打ち込んで下さい。)



10. テント本体上部のハトメ下のループ部に自在ロープを結び、四隅をテント本体から反対角側に1m程度離れた地面に自在ロープをスチールペグで固定し、テントの張りを調整します。(自在ロープは、自在金具がついた方が地面側になります。また、最初は緩めにロープを張り、自在金具の位置によりロープの張りを調整します。)



11. 使用状況により、テントの開口部のハトメ部にキャンピーポールを刺し、自在ロープで反対角側に固定する事で、開口部をキャンピーとして使用できます。）



# 撤収手順

## STEP 1 テント本体を撤収する



1. 自在ロープ、ペグ、ロックベルトを外し車両を切り離します。

2. フライシート、ルーフポール、ルーフポールジョイントを取り外します。



3. 4箇所の開口部のファスナーを締めます。



4. テント本体を横に倒し、対角の1辺を内側に折り込み、隣り合う面をL字型に畳んだ後、天井と底面になる部分を内側に折り込み、平面になるように畳みます。

### 注意

この時、隣り合う2面を90度以上広げないように注意して下さい。







5. 対角の角を合わすように折りながら、捻るように回転させ、円形になるように折り畳みます。



### アドバイス

この時、3重の円を作る感じで、捻るように回転させると円形になります。

6. 他の付属品とともに、キャリーバックに収納して下さい。

## STEP 2

## フライシートのたたみ方



1. フライシートを広げます。



2. フライシートを半分に折りたたみます。



3. 反対の方向に、半分に折りたたみます。



4. 反対の方向に、半分に折りたたみます。



5. 反対の方向に、半分に折り畳み、キャリーバッグに収納してください。